

《わたしたちは大和の自然を愛します》



《佐保自然の森植樹祭》

- * 「自然の森」事業について・「植樹祭」に寄せて

《創立10周年記念行事》

- * 錦秋の木曾路に行く・「研修旅行」参加者の言葉
- * 「国土緑化推進機構会長賞」決定
- * お元気ですか！
- * 「額井岳」・自然教室チーム
- * ならやまくレポート・自然観察・茄子クラブ
- * 昆虫講座⑬・自然俳句・「自然をちょっぴり・・・」
- * とりシリーズ・地域情報
- * 行事案内：「曾爾高原」・「京都植物園」・「12月例会・忘年会」
- * 今月の表紙・ペン画によせて

1	2
---	---

3	~	6
---	---	---

7

8

9	10
---	----

11	~	13
----	---	----

14	~	16
----	---	----

17	18
----	----

19	~	22
----	---	----

23

「佐保自然の森」事業について

佐保自然の森植樹祭実行委員長

阿部 和生

平成 21 年の冬に、風致景観課より「ならやまプロジェクト」南飛地 1 ha 強の県有地整備要請があり、22 年 3 月の幹事会で取り組むことに決定し、この事業がスタートしました。

実地検分や体制作り等の諸準備を経て、7 月に 11 人のプロジェクト・メンバーを立ち上げ、名称やコンセプト、除伐作業の手順等の協議を重ねました。そして、実際に現地の作業を始めたのは、その年の暮れ 12 月からでした。この間 鈴木副会長、藤田事務局の事業推進の体制ができあがり、この一帯の将来図を描くことや、地域の皆様・自治会への説明やご理解を得ること、そしてこの地の歴史やかつての航空写真（1974 年）を探し出しだす等の様々な準備に時間を費やしました。

学識経験者の吉岡溥先生や畑明宏先生に実地検分をお願いし、コンセプトへの助言を頂きつつ会員の英知を集め議論し計画を練り、基本的構想として次のようにまとめました。

- 1, 生物多様性豊かな明るい森。
- 2, 四季折々花が咲き実がなり、虫たちや鳥たちが豊かに感じる空間づくり。
- 3, 地域の植生を大切にする。
- 4, ランダム集中と均一な樹齢を避ける植栽を行い、樹木間の競争を意識する。

この森の名称は、旧地名を尊び地域を代表するものとして「佐保自然の森」としました。そして、この事業が単年度で終わるのではなく、23 年度を初年度として、年次計画として継続させていきたいと考えています。

地域の皆様にもお力添えを頂き、寂しかった一帯が、自然と親しむわれらの誇りの森となり、幼児が訪れ青少年が感性を取り戻す所として、日常に生かされ親しまれるステージになることを期待しています。

「佐保自然の森・植樹祭」に寄せて

奈良県風致景観課長

山 菅 善 宣

「奈良・人と自然の会」の皆様には、日頃より県の風致行政の推進に多大なご協力を賜り篤く御礼申し上げます。とりわけ、歴史的風土特別保存地区(平城宮跡地区)での「ならやま里山林」の整備について、大変なご尽力をいただいておりますことに感謝申し上げます。かつての荒れ果てた里山を雑木林や水田、畑に復元していただき、爽やかな風渡る里山風景が見事によみがえりました。皆様のマンパワーと継続力に敬服いたしております。

さて、この「佐保自然の森」につきましては、昨年度に一部、遊歩道の整備を行い、今年植栽を、来年度以降、残りの遊歩道等の整備を進める予定です。このような整備を行っても、器が用意出来たに過ぎません。器を活かすには、そこに中身や気持ちを盛り込んでいかなければなりません。そのような役割を皆さんに助けて頂ける事は、とても有り難いと思っています。

本日、このように地域の方々と共に植樹して頂くことが、植えた木を見守り、花が咲けば愛でる、紅葉や枯葉を美しいと感じる、といった森を育み慈しむ気持ちの醸成に一層つながっていくものと考えます。今後、この森を、地域の皆さんの散歩などの憩いの場として、また、子どもたちの自然観察の場として、歴史的風土に相応しい豊かな里山林として育てて頂きますよう、お願いいたします。

最後になりましたが、今後、「人と自然の会」の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を、ご祈念いたします。



佐保自然の森第1回植樹祭開催

11月19日(土) 午前10時～

親しまれ育てて
いただける森を
目指して!!

『佐保自然の森』は、この一帯の由緒ある地名に因んで名づけました。
地域の歴史と風土に相応しい森づくりを目指し、植樹や苗作りを続けて行きます。

森づくりの基本的な考え方

- ・自然環境の変化に強く、
地元の自然が復元された森
- ・野鳥や昆虫など多様な生物の棲む
豊かで明るい森
- ・地域の人々に親しまれ、
皆で育てる森

こんな木を植えます

- ・地域にある種子から
育てた木
- ・野鳥や昆虫が集まり、
人も楽しめる木
- ・異なる樹種、年齢の木

この森が、地域の方々にとって憩いの場となり、
皆様の手で守り育てていただけるよう
願っています。

この森は、奈良県有地(古都保存法による買入地)
で、奈良県風致景観課との協定により、
「奈良・人と自然の会」が管理しています。

錦秋の木曾路に行く

川井 秀夫

日時 平成23年10月17日～18日 快晴

参加者 33名（敬称略）

阿部、勝田、森、谷川、塩本、倉田、富井、羽尻、八木、村上、池田、田中（克）、竹本、四宮、永井、古川、寺田、藤田、弓場、川井、豊島、西谷、宮沢、柳田、吉村、鈴木、青木、守口、奥野、石井、平岡、岡崎、井戸

当会も歩み続けて十周年を迎えました。会員の皆さん共々、心から喜びたいと存じます。恒例になりました今年の一泊旅行は、十周年の『冠』を掲げての開催となり、多くのご参加を得て、これまでの十年を振り返り、これからの十年に希望を託す、パワー溢れる有意義な二日間だったと思います。「辿り来て未だ山麓」更なる前進を念じ、明日への限りない力を確信いたしました。高らかに十周年を祝い「ブラボー」。

【出発】

週末の悪天候も収まり、天も我らを祝福するかの如く、秋天が広がり快晴の朝を迎える。高の原駅 AM8:00。全員集合ヨーイドン。

【往路の車中】

寺田氏の音頭で進行。会長の祝辞を兼ねた挨拶。私から会の誕生秘話、十年の活動経緯を披露。古川氏より現今の分野別の実情を担当幹事の補足により報告。少し眠い。滞りなく木曾路に入る。

【木曾物語り】

中津川 IC から国道 19 号線に入ると木曾路である。木曾川の男性的な流れ、妻籠・馬籠を横目に「木曾物語」を私から一席。馬籠村出生の島崎藤村の偉業、木曾谷開拓の先覚者福沢桃介の電力開発に賭けた情熱。マダム貞奴との余話など、蘊蓄を語る。

藤村の晩年の大作「夜明け前」の冒頭の一節。『木曾路はすべて山の中である』が実感として胸を打つ。間もなく今日の目的地「赤沢休養林」である。

【通称 赤沢美林】

木曾五木の聖地に入る。紅まんさくの紅葉、白文字の黄葉、ヒノキ科の巨木が何百年の風雪に耐え林立する様は圧巻である。

学芸員の案内で特別に研究路を歩く。セラピー効果に木の根みちも何のその、三時間に及ぶ観察会もそれぞれが感動と新たな知識に大満足、思いを残して後にする。



【木曾高原ホテルの夜会】

私の音頭で高らかに乾杯。新旧会員の歓談に時を忘れる。二次会はカラオケの熱唱、演歌、歌曲、ポピュラー、童謡、軍歌と美声の競演。酒と歌で声帯が限界を超える。

創立10周年記念行事「木曾路研修旅行」参加者の言葉

川井顧問のレポートにもある通り、「木曾路研修旅行」は稀にみる天候に恵まれ、季節、場所とも素晴らしく、会員のみなさんの懇親の場になり、10周年記念企画にふさわしい行事となりました。アンケートに寄せられた参加者の言葉です。

・「お天気に恵まれてラッキーでした。紅葉がびっぴったしで、目の保養をさせていただきました。赤沢美林をあんなに上のほうまで行けたのは初めての経験！」西谷範子

・「天候に恵まれて、赤沢自然休養林、御嶽を十分に楽しむことができました。赤沢のガイドが大変よかったです。」四宮憲一郎

・「季節も良く、天候にも恵まれ大満足です。以前登った久しぶりの御嶽山と紅葉を見られ楽しい思いをしました。」村上雄之

・「楽しい旅行をありがとうございました。美しい日本の自然を満喫し、多くの会員さんと親しくなりました。」守口京子

・「奈良・人と自然の会の成り立ちをお聞きしたり、それぞれの担当者のコメントありで、この会のことが理解できてよかったです。楽しい仲間と二日間過ごせてとても良い思い出ができました。」青木幸子

・「初めての森林研修で、木の名前の数の多くあることにびっくりしています。同じ木でも種類も沢山あり覚えるのに大変でした。(覚えませんでした。)」岡崎節子

・「皆さんと仲良くできて良かった。赤沢美林と開田高原はすばらしかった。また行きたいです。」冨井忠雄

・「素敵な旅でした。山の姿も美しく、所どころでの山の解説がよく木曾にまつわる歴史も珍しく、教えていただいて有難うございました。」柳田弥知子

・「日程が良くて、紅葉も美しくよかったです。赤沢林は、もう少し時間が欲しかった。」奥野美佐子、「絶好の天候に恵まれ、2日間楽しませて頂きました。」八木順一

・「赤沢林は、少し忙しかったですが案内人の説明が良かった。白樺林も素敵でした。」吉村さつき



・「両日とも天候に恵まれ、秋の木曽路を楽しめた。赤沢のヒノキ林の素晴らしさ、目を見張った御嶽山、日和田の白樺林の美しさ、いずれも印象深かった。」藤田秀憲

・「好天に恵まれ、見事な紅葉が見られ感激しました。赤沢林は少し苦しかったですが、皆さんについて行けてうれしかったです。夜のカラオケも楽しかったです。」鈴木経子

・「天気に恵まれ、大変良い旅になりました。」池田信明、「天候に恵まれ、10周年記念にふさわしい研修旅行になったと思います。」豊島すみ子



・「大変よかった。コースも良かったし、懇親もはかれた。」羽尻嵩

・「赤沢自然林はもう少しゆっくり散策したかったです。開田高原からの素晴らしい御嶽山を見れて良かったです。」永井幸次

・「期待した以上に良かったです。」田中克彦
・「とても楽しく大満足の旅でした。行程や時間配分も細かく考えて下さっていると思いました。」石井篤子

・「楽しい企画でかつ天候にも恵まれ、大変有意義な研修会でした。」塩本勝也

・「天候に恵まれ大変楽しく過ごせました。美しい紅葉も満足でした。ただ一日目の赤沢林は歩き慣れない方には、少しハードではなかったでしょうか。もう少しゆっくり歩けたらもっと楽しかったと思います。」平岡久美

・「お天気に恵まれ素晴らしい旅となりました。心より感謝いたしております。」宮澤喜代子

・「赤沢自然林や開田高原など素晴らしい自然のある場所に連れて行ってくださり有難うございました。」井戸八穂子

・「大変有意義な研修旅行でした。言うことなしです。新しい方とも出会えて良かった。」勝田均

・「幹事さんのお骨折りで楽しい旅行でした。」倉田晃

・「御嶽山を中心とした紅葉、白樺林、強く印象に残ることでしょう。」竹本雅昭

・「素晴らしい企画有難うございました。」谷川雅邦

・「コース、ホテル、天候とも最高であった。」森英雄

・「すべて良かったの一言に尽きる。」古川裕司

・「素晴らしい景色を満喫しました。願わくば参加人数が40名を超えたかった。」阿部和生

(文責 寺田 孝)



国土緑化推進機構会長賞決定!!

(平成 23 年度ふれあいの森林づくり入賞)

会長 阿 部 和 生



都市の活力を導入し、国民が一体となって森林を守り育てることを目的とした「ふれあいの森林(もり)づくり」表彰制度があります。公益社団法人国土緑化推進機構が実施しています。森林整備を行い、都市住民、青少年、児童生徒のふれあいの場となる森林づくりのことを言い、その優良団体を毎年選出しています。

各都道府県知事の推薦枠(1件)の中から、中央表彰委員会で審査をし、年度4点以内の会長賞該当団体を決定する、と決められています。

この9月7日、中央における選考の結果、今年度は「長野県・箕輪村」「山口県・周東里山の会」「愛媛県・竹林をよくする会」、そして【奈良・人と自然の会】の4件が23年度の優良団体に決定しました。去る9月16日に県庁から決定通知と共に第35回全国育樹祭式典で表彰される旨と出席要請の連絡をいただきました。

全国育樹祭は、全国植樹祭とともに、毎年行われている国民的緑化行事です。戦後の荒廃した国土の緑化事業を驚異的なスピードで推し進めた母体です。奈良県では、平城宮跡で昭和56年5月24日に、「文化の遺産を緑でまもる都市づくり」をテーマにして、天皇陛下をお迎えし第32回全国植樹祭が行われました。そしてこの11月20日に、平城

宮跡で「第35回全国育樹祭」が開かれ、お手入れ行事、式典行事、育樹行事が予定されています。

◇お手入れ行事：かつてお手植えされた樹木(イチイカシ)の施肥、剪定等のお手入れを、皇族殿下がなされます。

◇式典行事：皇太子殿下の御言葉の後、各種表彰があり、国土緑化推進機構会長の衆議院議長への感謝状を顧問の参議院議長から、手渡されるようです。

活動を理解し支援下さった多くの企業・団体、行政のご指導、諸先輩方のお導き、そうしたお力添えにより、この度の栄に輝くことができたものと、心より御礼申し上げます。

予期せぬことでしたが、創設10年の記念すべき年に、このような素晴らしい賞をいただくことは、誠に意義深いものと思います。

会員の皆様の熱意、自然に対する様々な学習、実践に伴う技術の習得・蓄積、実行力、不断の努力そうしたものが認められたものでしょう。嬉しく、誇りに思い、感激しています。そして、会のスローガンであります「わたしたちは大和の自然を愛します」を色々なステージで具現化していけるように、会員一同更なる研鑽に努めていかなければなりません。

この栄誉を力に私達の活動の輪が、さらに広がるように努力してゆきたいと思えます。



「ルー随筆 お元気ですか！」

東北ぐるり旅

岸谷 和代

「いこうか?」「いこう!」で始まる我が家の車旅。右に左に廻った3度の北海道。僅かな自炊道具・キャンプセットにお気に入りのクロスも加えて敦賀から秋田へ19時間の船旅で始まった今夏の東北の旅。

秋田から五能線と並走する R101 を北上し白神山12湖をめざす。大小様々なブナが造り出す深く壮大な森世界自然遺産の白神の片隅でテントを張り、海辺の露天風呂不老ふ死で汗を流す。森に点在する大小の湖でのアカショウビンとの出会い・豊かな水を放つ暗門の滝・樹齢400年のマザーツリー。海霧の悪戯に冷や汗かいた竜飛岬への登り道未知の国霊場恐山・ドキドキで入った酸ヶ湯の混浴初体験。金黄花の花絨毯の中を歩いた田代平湿原・地球の鼓動を感じる八幡平泥火山・玉川温泉。津軽の夏の夜空に繰り広げられる勇壮なねぶたの数々。「ラッセ・ラッセ」の掛け声とハネトの鈴の音が華やぎを添える青森ねぶた。「ヤアヤアドー」と城下町らしく小粋な囃子方が素敵だった扇型山車の弘前ねぶた。「ヤッテマレー」とじょっぱり魂がほとばしる五所川原立佞武多。水と緑の対比が美しい奥入瀬。

静と動が織りなすみちのくの風土・人情・食の豊かさを満喫しチンプンカンプンの津軽弁と優しい笑顔に助けられ青森から秋田・山形・・・と会津磐梯山まで3週間。

3000KMの車旅は続いた。



お元気ですか！！

高橋 弘志

大阪城東区より出かけております。

意欲的なイベントが企画されるので楽しみにしておりますが、出かけられない事が多いです。ならやまの里山は感心させられることがあります。それは動物被害がなく、作物が収穫できることです。当たり前のことですが、私にとってはたまらない気持です。

北摂山地での畑作りは、畑のかこい柵がすべてです。柵に少しの落ち度があれば、壊され侵入されます。さつまいも50本植え付けして猿に抜かれ、植え付け、また植え付け・・・収穫できたのは3株の時もありました。被害がないのは小山の周囲に田畑、道路、集落があり森より隔離されているからと考えます。

奈良では収穫されないカボチャがころがっていたり、赤い柿が遅くまでぶらさがっている光景を見かけます。これは私にとっては特別なことのように思えます。動物被害がなければ土にしたしむ人がもっと多くなり、放置田畑も少なくなるのではないかと思います。

なにげない感動を求めて又出かけて行きます。

東海自然歩道 額井岳山麓を巡る

守口 京子

9月27日(火) 快晴 参加者 18名

担当: 川井 秀夫 弓場 厚次

見渡す限りの青い空からキュンキュンとモズの鳴き声が聞こえ、左を見れば額井岳(大和富士)の緑の均整とれた雄姿、右には幾重にも続く宇陀山地から紀伊山地の山並。その山並の濃いグレーの色が奥に行くほど薄くなり思わず見とれてしまった。

まずは「赤瀬のケヤキ」(樹高30m 幹周7.7m 樹齢400年)は2本が癒着し驚くほど大きく、森の様にこんもりと茂っている。十八(イッハ)神社の「コウヤマキ」は大きく育ち、熟した大きな球果をたくさん付けていた。戒場山の中腹、ヒガンバナの石段を上がると戒長寺。ご住職は立派な県指定天然記念物「オハツキイチョウ」(樹高15m 幹周4.1m 樹齢300年)を見上げながら『雌雄同株の珍しい木で、シダ植物と同じように葉の先に種子を付けること。ガジュマルの様に気根をたくさん出すこと。』などを雄弁に語ってくれた。

山門の前では「ホオノキ」にアケビに似た大きな実がたくさん成って一同驚いた。山裾の道を下り、室生湖畔の道をダムに向かながら、ツリガネニンジンなど秋の可愛い草花の観察を楽しむ方、アケビやマタタビなどの木の実を楽しむ方、他愛ないお喋りに口と共に足を弾ませる方、夫々の楽しみを味わいながら全員無事に大野寺に到着。初秋の奈良を満喫した一日だった。

参加された皆さんお疲れ様、幹事さんありがとうございました。



<癒しの散歩道>



山里に秋は静かに降りて

谷川 雅邦

長い黒髪をそっと撫でるような秋の風に 赤とんぼが仲間と野畑で楽しく戯れて
摘んで集めた草花のような優しい心に笑顔が揺れて淡い陽ざしを胸に浴びる
遠い山から可憐な落葉が舞い降りて野辺に小さな秋がそっと静かに忍びよる
走馬灯のように季節の思い出が祭り太鼓に送られて山里の景色は衣がえ
訪れる夜の月は澄んで煌々と輝きながら眠りの中で羽織袴の山々を照らすのだ

佐保台小学校で植物観察会を実施

自然教室チーム 高本実男

10月5日、佐保台小学校で「校庭の草や木となかよくなろう」をテーマに校庭の植物観察会を実施しました。

今回は9月7日に行った昆虫観察会につづき、校庭にある植物を観察しようというものです。



1年生と3年生が主体の32名の子どもたちが参加してくれました。

6つの観察班に分かれて、当会スタッフがリーダーとなり、楽しい観察会になったと思います。

校舎のまわりに観察ポイントを6ヶ所設けていましたが、開始時間直前になってあいにく雨が本降りとなり、急遽体育館での実施に切り替えて乗り切りました。

いろいろな葉の形をしたクズ、面白い形の実をつけるコブシ、とてもたくましくて強い草オオバコ、かわ

いそうな名前のヘクソカズラなどの話にはあまり耳をかたむけなかった子どもたちも「クズの葉でじゃんけんぽん」、「オオバコの花茎で相撲」、「紙ヘリコプター」、「ジクソーカード」など遊びの要素を取り入れた場面では夢中になって楽しんでいました。

植物観察をおえたあと、簡単な自然工作としてクヌギとシラカシの殻斗を使った熊さんの顔のペンダントを作りましたが、目のつけ方、鼻の位置、耳の大きさなどでできあがった熊さんの顔の表情にもいろいろあり、楽しい工作となりました。

子どもたちは自分で一生懸命につくったペンダントをだいじそうに持ち帰りました。



大淵池公園自然観察会

自然教室チーム 倉田 晃

10月4日快晴の天気のもと大淵池公園の自然観察会を行いました。参加者は合計16名で、小田さんの植物ガイド、木村さんの昆虫ガイドをじっくり楽しみました。何度もこの公園を歩いている人が多かったのですが、「知らなかった!」「納得した!」という声がたくさん聞かれました。

午後は10のポイントで自然教室チームのメンバーによるインプリ実習を行いました。小学校3年生程度を想定して植物の説明を行い、楽しい質問や笑いがいっぱいでした。

自然教室チームでは今後もこうした自然観察会を定例的に開催する予定です。その折はまたご案内いたしますので、一緒にご参加ください。

ならやまプロジェクト・レポート 23年10月

9月22日(木) 曇り/雨 参加者32名

A地区里山の笹刈り、彩りの森PJ関係は植木業者の現地立会。里山Gは台風15号による倒木の処理。農園Gは秋野菜の植え付け等を実施。

9月29日(木) 晴 参加者40名

「臨時ならやま活動日」、好天に恵まれ、各人目一杯に働く。彩りの森PJ関係は、植樹位置の整地、草刈り、障害木の伐採、皮むき等を実施。

里山GはD3地区の基礎整備およびカシノナガキクイムシの点検を行った。

農園Gは玉ねぎの畝作り、各種秋野菜の手入れ、冬瓜、万願寺シシトウ、空芯菜の収穫をした。

景観Gは道路周辺の草刈り等を実施した。

10月6日(木) 晴 参加者45名

里山GはD地区の基礎整備完了。茄子クラブはナス畑撤収(今年はプロ顔負けの収穫!)

景観Gはならやま大通り沿いの樹木の枝刈りを実施。農園Gはピーマン、生姜、万願寺シシトウ、空芯菜等の収穫。孟宗竹で「コロロボット」の製作。「菜の花プロジェクト」の運営について協議。

10月8日(土) 晴 参加人員31+24+1名

本日は最初にならやま大通り、自転車道沿い一帯の一斉清掃および周辺の草刈りを実施した。



10時から会員と家族の「いもほり大会」開始!

会員の家族および一般の9家族24人が参加した。

「紅東」を掘り出す子供たちの嬉しそうな顔。掘り出したイモは栗と一緒に焼き、皆で秋の収穫を味わい、残りは参加家族のお土産にした。

10月13日(木) 曇り 参加者35名

「臨時山の日」にかかわらず各Gから多数の参加があった。里山GはD地区の基礎整備を行う。農園Gは玉葱畑の畝作り、景観Gは草刈りを実施した。椎茸の秋子の収穫が始まる。

10月14日(木) 雨/曇り 参加者20+2名

本日の「公開いもほり大会」は、前日からの雨のため、22日(土)に延期された。

教育実習生も6名の申込みに対して、2名の参加と低調であった。里山Gは萌芽更新地区(E1)の皆伐作業に先立ち、周辺の小灌木の伐採を行った。

「彩りPJ」関係は植栽位置の整備を行った。椎茸は順調に生育し約60個収穫出来た。

10月20日(木) 晴 参加者35+5名

11月19日(土)の「佐保自然の森植樹祭」に備え、全員で草刈りを実施した。県の風致景観課からも5名の応援があり、一気に1ヘクタールの草刈りと枯れ木の伐採が完了した。引き続き、植樹位置明示の杭打ちを、県職員と一緒にいった。



(藤田 記)

ならやま里山林自然観察レポート

ならやま里山林花だより

山中 笙子

ならやまは今実りの秋、自然からの贈り物、どんぐりや実、風情のある秋の花でいっぱいです。去年田んぼだった湿地にタデ科の花が沢山咲いています。ピンクの金平糖の様なミゾソバの花、ボントクタデの花など、その中にイボクサの花が咲いていました。ツユクサの仲間、茎、葉はそっくり、可愛らしい薄紅色の花びら、その間から萼がのぞく一日花です。名の由来は葉の汁をいぼに付けると取れることから。

草花*ヨモギ、イボクサ、ノアズキ、ヒメジソ、ミゾソバ、アキノウナギツカミ、チョウジタデ、ボントクタデ、クルマバザクロソウ、ツリガネニンジン、カナムグラ、ヒメクグ、アオミズ、ススキ、ヌカキビ、ツルリンドウ、ツルアリドオシ (実)

木の実*ヌルデ、ソヨゴ、コバノガマズミ、ヤブコウジ、コナラ、クヌギ、コシアブラ、タラ、アケビ、クリ、カキ、オニグルミ、クコ (花)

キノコ*ツチグリ、ドクベニタケ

花壇*ヒメツルソバ、フジバカマ、ノコンギク、シュウメイギク、キクイモ



ならやま鳥だより

小田 久美子

10月10日。7種16羽、またまた不作の記録が出ました。菊川・小田

ならやまの豊かな自然を満喫しながら、菜の花を育てています！

ならコープと協働で菜の花を栽培して5年になります。今年は会員のみなさまと一緒に菜の花を育て、里山で楽しい時間を過ごしたいと思います。ご家族おそろいでご参加ください。ご都合のよい時間、日程で、またおひとりでのご参加もお待ちしています。

期間：11月から翌年6月まで、毎月第1土曜日
10時～15時 (予定)

内容：午前 菜の花の手入れ
午後 自然体験 里山散策、自然工作など
問合せ・申込



為せば成す ナス畠 四度目の正直

茄子クラブ より

今年のナス栽培も10月4日に撤収し半年間の作業を了え、総括すれば満足な成果であったと思う。過去三年間の経験と、練達のファーマーの指導宜しく、自然栽培のカセの中で、限界とも言える80点の出来ではなかったかと自賛したい。

しかしながら反省点も多く、今後の課題を幾つか残した事も否めない。今年は適度な雨に恵まれ、水やりの労力が省かれ、収穫に追われる日もあったが、虫害には例年の事だが悩まされ、自然の猛威に人間様の非力を痛感したものである。

メンバーの方々、とりわけ萱野 勉 氏、鈴木 末一氏に感謝の意を申し上げ、私なりの課題を付記し、今後に向けて研鑽努力を続けたいと思っている。

- | | | |
|--------|------------|---------------|
| ① 防虫対策 | 植物性有機薬剤の散布 | 散布のタイミング |
| ② 植え付け | 苗木の間隔を広げる | 風通しを良くする |
| ③ 整枝 | 子葉・古葉の剪定 | 葉擦れによる結実の損傷防ぐ |
| ④ 追肥 | タイミングの再考 | 裂果防止・秋茄子対策 |

川 井 記



堅い木もガリガリ、虫歯は1本もないよ！

—やさしい昆虫講座（第13話）—

木村 裕

樹木の堅い材をかじる昆虫を紹介します。いま売り出し中のカシノナガクイムシはよくご存知のことと思います。ミズナラ、コナラなどの幹内に食入して樹全体をあっという間に枯らしてしまう恐ろしい害虫です。奈良県下にもすでに侵入し、わがベースキャンプのならやまでも警戒態勢下にあります。しかし、犯人の虫はなにぶんにも小さいので森の中で見つけることは難しいことです。

樹の幹内に侵入する虫には、クイムシ類、ナガクイムシ類、ゾウムシ類、カミキリムシ類、タマムシ類などいろいろの甲虫がいます。また、ボクトウガ、コウモリガなどの蛾の幼虫も幹内に食入して内部の材をガリガリかじります。

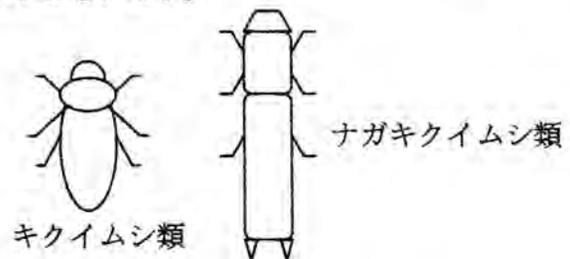
樹を枯らす筆頭はクイムシ類で、その名の通り成虫も幼虫も樹木の幹内に侵入して、内部を食い荒らします。成虫は大きくても7mm程度で、ほとんどは2~3mmと非常に小さな甲虫です。貯蔵中のお米を食い荒らすコクゾウムシと同じくらいです。

その大半の種は枯れかけの樹が大好きです。病人（弱った樹）の足をひっぱって死ぬのを待っています。だから元気な樹はお呼びではありません。死臭をかぎとって集まって来て、寄ってたかって樹の枯れるのを早める悪い虫？です。成虫は幹皮と材部の境の部分に住み着いて卵を産みます。ふ化した幼虫は黄白色のウジで、樹皮下でトンネルを掘るように食い進みます。そのため、樹皮下には四方八方に食い進んだトンネル跡が残ります。このようにたくさんの虫の攻撃を受けると樹の水分や養分の通り道である部分がダメになり早期に樹全体が枯れます。切り倒したスギなどをすぐに樹皮を剥ぎ取るのはこの虫の侵入の足がかりをなくすためです。そのまま放置す

ると虫の侵入・食害によって材の表面が傷つき商品価値がなくなるからです。

クイムシ類の中には見た目にはまだ健全な樹（虫の判定基準によればやや弱った樹）に侵入する種類がいます。この仲間は樹皮下ではなくて、真っ直ぐに深い堅穴をあけ、材の中に入り込み、そこで一家が過ごすリビングルームをこしらえます。そしてその部屋で運び込んできたアンブロシヤ菌を繁殖させ、子供たちの餌にします。この菌の毒素によって樹はじわじわと弱ってゆきます。外見上は、侵入孔から黄褐色の木屑がこぼれ落ち、樹液もしみ出て、その部分は黒く汚れます。カシノナガクイムシの被害とよく似ています。

また、クイムシ類の中には樹の幹内には潜らず、クリやコナラのドングリ内で育つ変わり者もいます。



ナガクイムシ類は、クイムシ類によく似ていますが、体が長細く、円筒状で、光沢があります。胴体が長く足が短いのでダックスフンドのような感じですが、慣れれば見分けられますが、一般の方では無理でしょう。この仲間はクイムシ類のような目立つ被害を与えることはあまりなかったのですが、もちろん昔からカシノナガクイムシもいました。どんな理由があったかまだ直接聞いていませんが今回は大暴れしています。クイムシ類と同じように樹内の住処にナラ菌を繁殖させて子供の餌とするために、その菌の害による被害が問題となっています。

9月27日オプション行事。額井岳(通称 大和富士)の裾野から室生ダム湖を経て大野寺まで東海自然歩道を歩く。残暑収まり快晴。

幾とせの秋を迎えし大銀杏

井戸八穂子

長戒寺の珍木オハツキイチョウ。三百年の風雪に耐える。
大樹の生命力のオーラを感じ、作者は息を呑む。

馬肥ゆる脚と愛でたり三万歩

井戸八穂子

ちょっとロングコースだったかな。完歩したお御足がいとおいしい。
ダイエットに良し。美脚になりますぞ。

大和富士裾に田の色従へり

川井 秀夫

額井岳の山容を仰ぎ、室生の遠山を眺望する。裾野には黄金色の
田が実りの賛歌を謳う。日本の原風景がここにある。「田の色」は季語。

いのかすち
添ひ遂げる気もさらさらに牛膝

川井 秀夫

イノコズチの種子は動物によって運ばれる。
人は衣服について嫌う。草と動物、共生の優しさか。

とか
烏瓜なんの科にて吊るさるる

川井 秀夫

まだ青い烏瓜。風に揺れる姿は愛嬌者。打ち首のように何の罪で
吊るされているの。これは私の妄想からでた比喩、ゴメン ゴメン。





自然をちょっぴり いただきま〜す 西谷 範子

夏に小さめのヒマワリのような花を咲かすキクイモ（キク科）。北米産の外来種だが野原や河原に枝を大きく張って木のように立っている。戦中戦後、食料不足を補う為栽培されたが今は野に逃げ出して茂っている。

葉はざらざらして毛があるが、若葉は春に天ぷらにできる。

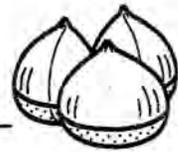
11月頃は根茎（塊茎）を掘り出して食べる。土生姜を更にでこぼこさせた形だが、白くて皮が薄い。皮はむかずによく土を落として使う。

新しいものは薄切りにしてサラダに混ぜるとシャキシャキして歯ごたえがいい。繊維質だが栄養価が高く、イヌリンという多糖が含まれるのでほのかに甘い、ブドウ糖でないので血糖値は上がらない。

牛蒡の風味がする。生食が合うので、味噌漬、粕漬などの漬物にするとおいしい。

また、薄切りにしてちょっと水にさらし、水気を拭いて低めの温度でチップにすると牛蒡風味のやさしいチップになる。

以前、芋のように煮てみたが、コクがなく少し肩透かしを食った感をしたことがある。煮方が悪かったのか、いつかもう一度挑戦しようと思っている。油とも合うので、他のものと炒め物やきんぴらなどにしてもよい。



大地：ここは自転車道より一番低い場所。笹りの後、残っていた杉やウラジロガシの大木と松など数十本が倒されて久しく広々とした。

鬼ヤンマ：広い空間になったら俺の天下だ。

早よ作業終えて出て行ってほしいな。

キリギリス：そんなこと言うもんじやないわ。お蔭で楽にエサが捕れて喜んでるくせに。

大地：どうだい！西の方を見ろよ。右の杉林と左の雑木林にはさまれ、V字型の青空が一幅の絵のようじゃないか。

鬼ヤンマ：おじさん達も俺の勇姿を見て、昔々ヤンマと戯れたことを懐かしんでる。あの昆虫博士なんか、青い大きな俺の目が素晴らしい素晴らしいって。

キリギリス：夜になったら、虫時雨楽団のコンサートで盛り上がるのに、聞いてもらえないのがとても残念だわ。

大地：うーんそうだな。でも、ここには何羽かの鳥（からす）の羽根と骨だけ残っているが『朝（あした）には紅顔ありて夕（ゆうべ）には白骨となれる身なり』（蓮如上人の御文章）と人間界にはあるが、そんな学習とは関係なくポタッと御陀

仏したんだろうなあ。

気楽な鳥生（とりせい）でよかったかもね。君等の演奏が慰めになるだろうよ。

鬼ヤンマ：この竹杭に楓と桜が植樹されるんだね。見頃になっ

たら多くの人に来てもらって、俺の自慢の青い目もしっかり見てほしいなあ。

大地：それは楽しみだな。私は地球上で針先程の広さもないが、世界人口増が問題視される中で、この里山からも人と自然の共生を発信できればいいけどね。

絆へ



竹本 雅昭

とりのシリーズ

♪津軽海峡 冬景色～♪

小田 久美子

10月下旬～11月下旬にかけて、白神岬(北海道最南端)～竜飛岬(本州最北・青森県)までを渡るヒヨドリたちがいます。それを狙ってどこからかハヤブサが現れビビった群れは元の岬に舞い戻ります。冬将軍が迫っていて早く渡りたいヒヨドリ。何度かのトライでやっと飛び立てましたが、海峡半ばでは別のハヤブサが待ち構えています。犠牲者が出て文字通り一丸となってひたすら飛び続けます。やっと振り切った頃今度は自分よりずっと大きなカモメの群れが現れます。まだ残っている力で時速50^{km/h}にギアチェンジしてカモメたちを振り切る群れには今年生まれの若鳥たちも混っ

ています。対岸の岬が見えもう安心かと思った時、青森のハヤブサが前から襲って来ますがもう後戻りは出来ません。又犠牲者が出ます。追うもの追われるものどちらも生きるため、その一時間余りは生き物たちの大スペクタクルドラマです。到着した竜飛岬からは思い思いの地へ分かれ、遠くは長野県迄行くそうです。一方、本州で南下する仲間は、タカたちと一緒に知多半島(愛知)から海へ出るものもいます。そこでもタカたちは脅威です。逡巡して陸に戻る群れたちの様子は私たちの身近で見かけるヒヨドリではありません。今年年がら年中何処でも見られ、うるさくて厚かましい印象の鳥ですが、こんな映像を見る機会があったら貴方のヒヨドリ感も随分変わってくるでしょうね。



★ 10月3日 (櫃原) 畑で朝10時半ごろ、うちの横の畑の人が草刈りしてたら、マムシがじっとしていたとのこと、見せてもらったら体長60cmほど三角の頭で体はマムシ模様。体は太目。こんなにじっくりみたのは初めて。私が出会っても不思議はない 気をつけよう。

・4日 雨水ペールのオタマジクシに可愛い手足が。一番小さい「いっちゃん」は3cm程に。かく後ろ足のキュッと曲がったところや短い 短い水かき部分がなんともかわいくってペールから離れられない。

・5日 (櫃原) 散歩中 なんとマミジロが……。それがマンションの庭。真っ白な眉が印象的!! 去年緑地公園で出会って以来だ。飛ぶと羽の裏の白黒模様の帯がきれい。

(斎藤)

★【斑鳩】9日エゾビタキ三室山で今年は少なかったです。

ツバメとコシアカツバメが竜田川近辺を飛び交っていた。一緒に飛んでいるのを見るのは初めてです。

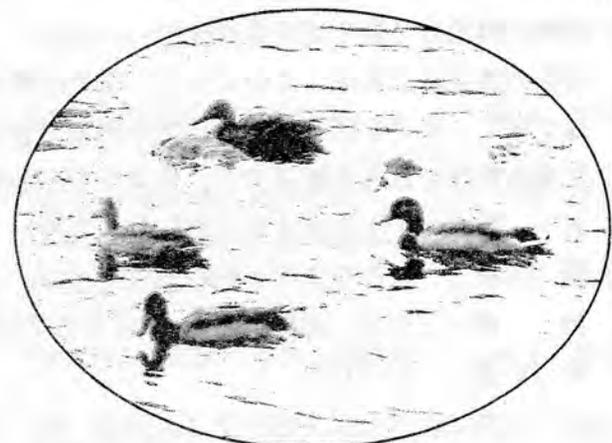
20日はコシアカツバメが毎年止まっている斑鳩町神南の高圧線に170羽止まっていた。高いため写真には米粒位にしか写りません。

・11日マガモとコガモを初めてみました。

(去年はコガモ18日、マガモ21日でした)



(コガモ



・マガモ11日に大和川で写す)

【斑鳩・神南】ピラカンサの実が今年も真っ赤になりました。散歩途中のおうちの庭です。去年は実が木を真っ赤に覆っていましたが、今年は少なめです。ヒヨドリたちが他の実がなくなってから食べだします。去年は3日で食べ尽くされました。



・大和川の三郷町と王寺町に架かる若草橋の近辺は例年ヒドリガモが多く飛来します。

今年は20日に見ました。

写真のマガモはもう換羽していますが、ヒドリガモはエクリプス中なのでみんなメスみたいでした。

(勝田)

行事案内

※原則：前日午後7時前のNHK天気予報で、降水確率(午前)60%以上の場合は中止

※当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません

『ならやま里山林プロジェクト11月・12月の予定』

場所： 奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林（JR平城山駅下車徒歩10分）
 —「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—

日時	日時
11月 3日（木） 活動日	12月 1日（木） 活動日
11月10日（木） 活動日	12月 8日（木） 活動日
11月17日（木） 臨時山の日	12月15日（木） 活動日（ならやま芋煮会）
11月19日（土） 活動日 （佐保自然の森植樹祭）（教育実習生受入れ）	12月17日（土） 活動日（教育実習生受入れ）
11月24日（木） 活動日 （新蕎麦まつり）	12月22日（木） 活動
	12月26日（月） 迎春準備

集合： 現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時

交通： ①近鉄奈良駅 バス13乗場8：23発 高の原行（平日・土曜）

②近鉄高の原駅 バス1番乗場8：32発 JR奈良行（平日）

8：30発 JR奈良行（土曜）

①、②とも佐保台西口、または平城大橋で下車 徒歩約7分

携行品など： ・弁当、飲み物、軍手、（作業用具は現地で用意）

*環境保護のため、コップ・箸・椀などは各自でご持参下さい。

“新そば祭り”

とれ立て・打ち立て・茹で立て!!!

秋は新そばの季節です。ならやまフィールドでは新そばの実がたわわに実りました。収穫、脱穀、製粉して新そばを作ります。

会員の皆さんに賞味していただく“新そば祭り”を開催します。「とれ立て・打ち立て・茹でたて」の“そば”は、食べたら病みつきになること請け合いです。日頃フィールドに來られない方も大歓迎です。見学がてらお越しください。お待ちしております。

日 時； 11月24日（木） 12時～

場 所； ならやまフィールド

持 参； お皿、お椀、お箸（「ざるそば」です。）

参加費； 500円

担 当； 「そば文化クラブ」寺田 孝



リース作りのお誘い

11月10日(木)ならやまに佐保台幼稚園の園児と保護者の方がリース作りに来られます。

ちょうど良い機会ですので、会員の皆様もいっしょに

自然の材料を使ったすてきなリース作りを楽しみませんか。

材料はすべてこちらで用意いたします。(特にご注文のある方はお知らせ下さい)

材料の都合上、事前に申し込みいただくとありがたいです。(〆切11/9)

但し、当日飛び入りも材料がありましたら参加いただけます。

11月10日(火) 9:00 ならやまフィールド(雨天中止)

持ち物: 花切りばさみ、目打ち(あれば)、手拭き、持ち帰り用紙袋、

参加費: 300円 豚汁付き(お椀持参)

担当及び申し込み先: 西谷範子

去年雨で流れた曾爾高原を再度計画しました!

創立10周年記念 オプション行事 東海道自然歩道「曾爾高原編」

曾爾高原といえば・・・ すすき! 秋と言えば・・・ 曾爾高原すすきです!!!

東海道自然歩道を歩きませんか。秋期の期間のみ運転される、曾爾高原駅までバスで登ります。時間はたっぷり、ススキと湿原植物を堪能して下さい。

日時: 11月12日(土)

集合: 近鉄 名張駅前 西口 三重交通バス乗り場 9時20分

バス: 曾爾高原行き 9時35分発 曾爾高原10時22分着 (810円)

コース概略: (東海道自然歩道) 歩行距離 約4.7km (実歩行時間1時間40分)

曾爾高原バス停(準備体操)10時30分発 → 亀山 → 亀山峠(昼食)

→ くろそ山荘 → 池の平湿原 → 中太郎生 (バス) → 近鉄名張

中太郎生バス: 中太郎生 → 名張駅前 (790円)

13:05 13:54

15:05 15:54

近鉄電車時刻(土曜) 参考(9月現在)

☆ 大和西大寺 8:21発 8:43着(乗換) 大和八木 8:52発 9:22着 名張

☆ 鶴橋 8:17発 9:22着 名張

* 帰りの交通が変わりますので近鉄割引切符「曾爾高原すすき散策きっぷ」を買わないでください。

★ならやま・パードウォッチング

☆日 時：11月14日（月） 9:00 集合

★集合場所：ならやま駐車場

☆小雨決行：判断の難しい時は担当者に問い合わせてください。



<11月例会> 「京都植物園の紅葉と植物観察」

園内には池の周りに植えられたたくさんのカエデが紅葉し、見る者を魅了します。他にも多種類の植物が植えられており、秋の植物観察をガイドしていただきます。説明付きのこの機会にぜひ参加してください。

日 時：11月22日（火）9時45分 少雨決行

集合場所：府立京都植物園 北山門前

京都地下鉄烏丸線 北山駅下車3号出口上がる。（京都駅又は竹田で乗車）

持ち物：弁当、飲み物、筆記用具、など（園内に軽食あり）

入場料：200円 但し、60歳以上は無料（年齢証明できる物を持ってきて下さい）

担 当：平岡久美

西谷範子

「彩りの森」の植樹に参加してみませんか！！

ならやまプロジェクトの「彩りの森」計画は、皆様のご協力でいよいよ植樹する段階になりました。これを機会に全会員の皆様に植樹の協力をお願いします。是非、ならやまに出かけ、素晴らしい里山で植樹を体験してみてください。初めての方、大歓迎です。

1. 実施日：11月24日、12月1日、8日の3日間です。木曜日のならやま活動日です。
2. 樹 木：ヤクシマオナガカエデ：約100本、ヤマザクラ：約30本 計130本
3. 作 業：2人1組で植木置き場から植穴へ運び入れ、土掛け、水遣り、植木の保護をし
2～3本を植樹します。約1時間程度の作業です。初心者でも大丈夫です。

初めてでご不安の方は、

彩りの森の植樹担当：木村 裕：

塩本勝也：.....

*この植樹は「瀬戸内オリーブ基金」からの助成により、全会員の手で緑化に貢献するものです。

<12月の予定>

12月例会「頭塔・高円山・春日山紅葉を訪ね、忘年会へ」

重要文化財「頭塔」、高円山の火床、春日山の紅葉を巡ります。12月初旬が、例年紅葉の真っ盛りです。担当者が日本でナンバー2と思っている春日山の紅葉スポットへとお連れします。ゆっくり紅葉を楽しみましょう。当日の案内は鳥井繁夫さんをお願いしています。その後、「奈良 万葉荘」で今年度の「忘年会」を開催いたします。

1. 「頭塔・高円山・春日山紅葉を訪ねる」

日時： 12月5日(月) 9時30分～15時30分

集合： 近鉄奈良駅前(行基菩薩像前)

コース： 市内循環バス(破石バス停車)→頭塔→高円山→火床→春日山→万葉荘

担当者：

*寒さ対策、雨具、軽登山靴などよろしくお願ひします。

*3時半頃に忘年会会場(万葉荘)に到着予定です。

2. 「忘年会」—この1年を振り返って、会員相互の親睦をはかりましょう。

日時： 12月5日(月) 16時～18時

場所： 「奈良 万葉荘」 奈良市高畑町1201-1 0742-26-7933

近鉄・JR「奈良駅」から1番乗場市内循環バス「破石(わりいし)」下車すぐ。

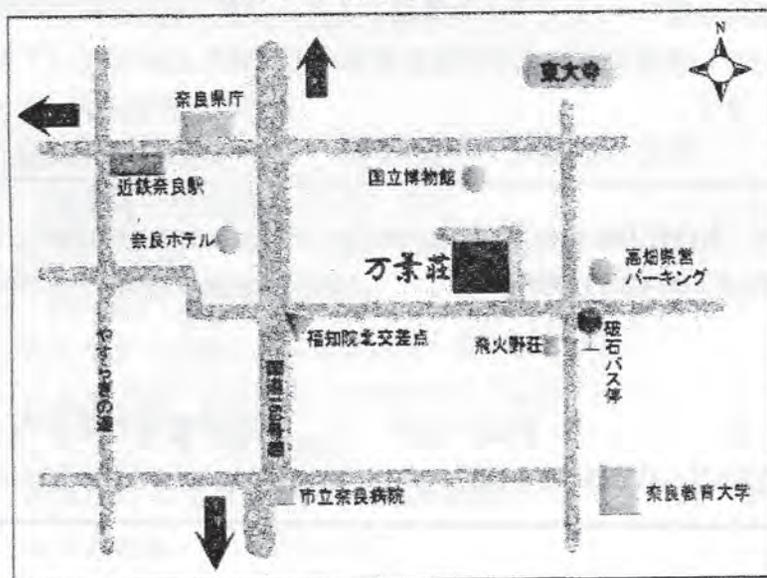
会費： 男性 5000円 女性 4000円

担当者：

*「忘年会」ご参加の方は、11月28日(月)までに担当までご連絡ください。「忘年会」のみのご参加も歓迎いたします。

*前日午後7時前のNHK天気予報で降水確率(午前)60%以上の場合は例会は中止といたしますが、「忘年会」は実施いたします。

「奈良 万葉荘」地図



平成23年10月度幹事会報告

日時； 平成23年10月4日（火） 17：15 ～ 20：40

場所； 中部公民館

出席者； 幹事17名 顧問1名

- (1) 9月末会員数 124名
- (2) ならやまPの今年度延べ参加人数は、2500名を超える予想。(昨年2221名)
- (3) 「彩りの森」の会員植樹は、11月20日～12月15日の間に4回実施予定。
- (4) 森林総研の再鑑定で、現在ならやまFにはなら枯れの原因となる「カシナガ」はいないと確認された。
- (5) 創立10周年記念新春講演会は、1月29日から1月22日に変更。

表紙のペン画によせて

境 寛

高松塚古墳は、奈良県高市郡明日香村（国営飛鳥歴史公園内）にある古墳です。1972年に、発見された石室の壁画が有名で、特に色彩鮮やかな西壁の女子群像のカラー写真は当時衝撃的なニュースでした。

しかし、雨水の浸入やカビの発生などにより壁画の退色・変色が顕著になっていることが2004年に明らかになり、壁画の修理がおこなわれることになり、石室の解体修理が開始され、現在石室は修理施設に搬出され、古墳内には、現在石室はありません。

最近は、古墳周辺もだいぶ静かになっています。

編集後記：*朝夕が涼しくなり、活動もしやすくなりました。また、ならやまの柿が色付いて蕎麦も収穫されます。ならやまを秋の景色へと変えています。「彩りの森」の整備がされ、植樹も始まります。会員のみなさんのご協力により彩りの森の植樹を成功させたいですね。一度ならやまをお尋ねください。

*会報発送作業・編集会議日：12月号の作業は11月30日（水）午前9時から「西奈良ボランティアセンター」で行います。毎回多くの会員の方々のご協力をいただいております。今回もよろしく願いいたします。

編集担当：勝田 均

TEL&FAX：